

8/6 五題

オスプレイ超低空飛行の日米合意

米海兵隊MV-22オスプレイが高慶200m(約60m)の超低空飛行訓練を行つた。日本側は、V-22による対地雷撃(500m未満200m未満)での飛行訓練を日本国内で実施するため、「JAT」(Joint AT)訓練」という文言を意図的に削除していることが分かりました。

も効率的に米海兵隊のMV-22を運用するため必要であることに鑑み、M-22による対地雷撃(500m未満200m未満)での飛行訓練を日本国内で実施するため、「JAT」(Joint AT)訓練」という文言を意図的に削除しています。しかし、正文では、「飛行訓練」という箇

ATについて「500m未満200m未満」を下回る前提です。今回の合意の正文は外務省ホームページの分かれにいく場所にあります。米軍の運用に関する情報は、あらためて示されましたが、「假訳」はすべて正文で和文は「本訳」として「本訓練」に書き換えていました。

和文から「低空訓練」削除

日米両政府の代表で構成され、在日米軍の運用や基地の提供などについて協議する日米合同委員会の合意文書は、英語が正文で和文は「假訳」として示されています。「假訳」は、今回の合意について、「最もアルは、オスプレイの」でした。